

CSI利用研究会のあゆみ

CSI副理事長・運営委員長 相原 玲二
(広島大学情報メディア教育研究センター)

1993年の任意団体発足以来、当協議会ではインターネットに関する最新動向を知るとともに、最新の技術を導入するため、シンポジウム、フォーラム、セミナー等を毎年開催してきました。しかし、当地域のインターネット利用に関する研究活動や取り組み事例を発表し、地域に根ざした生々しい情報交換の場の必要性を強く感じるようになりました。そこで1996年2月に、「キャンパスネットワークの現状と利用研究会」が開催されました。以来、利用研究会は毎年開催され、2000年3月からは「インターネット利用研究会」に改称されましたが、CSI主催の利用研究会としては2003年12月で通算9回目の開催となりました。なお、1996年～1998年は、日本OR学会中国・四国支部インターネット研究部会と合同での主催でした。

利用研究会では、毎回10～15件程度の研究発表や事例紹介が行われ、50～100名程度の参加者を得て有意義な議論を重ねてきました。利用研究会における発表テーマは、当初は主に大学のキャンパスでインターネットをいかに普及・定着させるかが中心でしたが、その後、小中高校でのインターネット利用や広帯域ネットワークを利用した遠隔教育などへも広がり、CSI利用研究会は密度の高い情報交換の場として有効に活用されています。



研究発表の1コマ



デモンストレーション展示
インターネット利用研究会2001
(於(財)放射線影響研究所)

キャンパスネットワークの現状と利用研究会 (開催日・会場)

1996年 2月23日	広島修道大学
1997年 2月28日	広島修道大学
1998年 2月27日	広島大学(東千田キャンパス)
1999年 3月13日	安田女子大学

CSIインターネット利用研究会 (開催日・会場)

2000年 3月 4日	近畿大学工学部(東広島キャンパス)
2001年 3月24日	(財)放射線影響研究所
2002年 3月 9日	県立広島女子大学
2003年 3月22日	広島市まちづくり市民交流プラザ
2003年12月25日	広島市まちづくり市民交流プラザ

CSI役員・運営委員

理事長	吉田 典可
副理事長	相原 玲二、染岡 慎一
理事	片山 博昭、小関 裕二、椿 康和、西村 浩二、前田 香織、前田 真理
監事	石永 正隆、大場 充
運営委員	相原 玲二(委員長)、前田 香織(副委員長)、今井 一雅、上野 優香、河野 英太郎、田島 浩一、玉井 基宏、西村 浩二、原田 隆、前田 真理

(2003年12月3日現在)



インターネットと犯罪

広島県警察本部・生活安全部・生活安全企画課
ハイクテ犯罪対策室 警部補 土 肥 章 裕

二十数年前、父が我が家にコンピュータを持って帰ることになり、母親がタンスより大きいシロモノがやってくると勘違いしたことがあります。今では当たり前のように小さなコンピュータで電子メールを送るなど、私が改めて言うまでもなく、インターネットに代表される近年の情報通信ネットワークの発展は目覚ましく、最新の技術や便利なサービスが急速に普及しています。



しかし、この情報通信技術の発展は、一方で犯罪に利用される影の側面を持ち合わせており、特に、名前や顔を知られない匿名性、実際の距離に関係なく多くの人を対象とできる広域性、といった特質が悪用され、オークション等を使った詐欺事件や、電子メールを使った脅迫事件、出会い系サイトを巡る犯罪など、インターネット利用者であれば、誰もが被害者となり得る犯罪が急増しつつあります。

この「誰もが被害者となり得る状況」は、ハイクテ犯罪に限ったものではなく、自転車の盗難、ひったくり、住宅での窃盗事件など、実際の社会における犯罪の傾向と変わりません。つまり、犯罪を行おうとする者から見れば、特定の者を狙うのではなく、狙いやすい者に対して、犯罪のやりやすい場所において犯罪を敢行する傾向が強いのです。

例えば、実社会とネット社会における犯罪を具体的に比べてみると、「狙いやすい者」とは、実社会では外出時に鍵をかけない人であり、ネット社会では安易なパスワードをつける人と言えるでしょうし、また、「犯罪のやりやすい場所」とは、実社会では目撃者や防犯カメラのない場所であり、ネット社会では、ログも残さず身分確認の不十分なサーバ(サイト)、と言えるのではないのでしょうか。

実社会において家の鍵をピッキングに強い錠前に換えたり、防犯カメラを取り付けるように、インターネットの社会においても、利用者や管理者の姿勢により、相手(犯罪企図者)に対してスキを見せない、犯罪をさせる機会を与えないこ

とが、犯罪やトラブルに巻き込まれないために最も重要なことなのです。

インターネットの世界においても犯罪が増加する中、ハイクテ犯罪捜査を担当する者として、これからのネット社会が、多くの利用者や技術者の情熱や理想に支えられ、一人でも多くの人にとって、安全に安心して利用できるものとなることを願ってやみません。そのためにも、CSIの果たすべき役割と活動はますます重要になっていくものと思います。メンバー皆様方の益々のご活躍を期待致します。

ハイクテ犯罪の検挙状況(平成14年) 出典:「警察白書」(警察庁発行)

罪 種			平成14年	増 減	平成13年	平成12年
不正アクセス禁止法違反			51	16	35	31
コンピュータ、電磁的記録対象犯罪			30	－ 33	63	44
	電子計算機使用詐欺		18	－ 30	48	33
	電磁的記録不正作出・毀棄		8	－ 3	11	9
	電子計算機損壊等業務妨害		4	＋ 0	4	2
ネットワーク利用犯罪			958	＋246	712	484
	児童買春・児童ポルノ法違反	児童買春	268	＋151	117	8
		児童ポルノ	140	＋ 12	128	113
	詐 欺		112	＋ 9	103	53
	わいせつ物頒布等		109	＋ 6	103	154
	青少年保護育成条例違反		70	＋ 60	10	2
	脅 迫		33	－ 7	40	17
	著作権法違反		31	＋ 3	28	29
	名誉毀損		27	－ 15	42	30
	その他		168	＋ 27	141	78
	合 計			1,039	＋229	810

「CSI技術セミナー2003」開催報告

理事・運営委員・運用技術部会主査 西村 浩二
(広島大学情報メディア教育研究センター)



スクリーン (CSI技術セミナー2003)



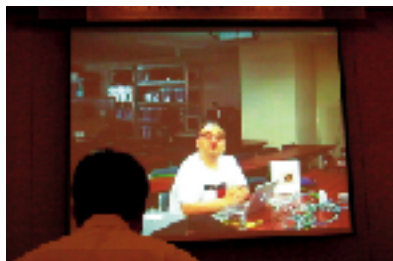
山口先生

2003年9月5日、広島国際会議場大会議室(ダリア)において、当協議会の主催(後援:総務省中国総合通信局、協賛:中国情報通信懇談会)で「CSI技術セミナー2003」を開催致しました。今回は「ネットワークセキュリティ」と「移動体通信」という現在もっともホットな話題とテーマとして、それぞれの分野でご活躍の山口英(すぐる)先生(奈良先端科学技術大学院大学)、砂原秀樹先生(同)をお招きし、最新の技術動向などについてご講演頂きました。時折りしもMSブラスター騒ぎの真っ最中ということもあり、108名の参加者と講師との質疑応答にも熱が入りました。

また当日は、会場と東京大学情報基盤センターを100MbpsのFTTH(Fibre To The Home)で接続し、広島大学で開発中の高品質動画像伝送システムを使ったデモを行いました。遠隔参加の安東孝二先生(東京大学)からは実際の事例に基づいたセキュリティ対策のお話もあり、各組織の運用担当者には大変有益であったと思われます。この他、企業2社によるテーマに関連したシステムのデモ展示・解説も行われました。当日の様子は、<http://www.csi.ad.jp/wg/pub/semi03sep05-houkoku.html> をご参照下さい。



砂原先生



安東先生



会場の様子

会員紹介シリーズ No.7

福山平成大学 (<http://www.heisei-u.ac.jp/>)

福山平成大学は1学部(経営学部)3学科(経営情報学科、経営法学科、経営福祉学科)の単科大学として1994年に開学しました。来年度より、経営福祉学科が福祉健康学部として独立するため、2学部の構成になります。学内のネットワークを含む情報関連施設の管理運営は情報教育研究センターが一元的に行っていますが、専任の教職員、常駐SEなどはいません。ネットワーク環境は昨年3月に再構築を行いました。基幹は1Gbpsの光ケーブルを敷き、すべての教室、ゼミ室、研究室に100Mbpsイーサネットの情報コンセントを設置していますので、情報関連の演習授業はもちろんのこと経営系の講義やゼミでもインターネットを利用することが可能です。現在は、インターネットによる同時配信授業や、e-ラーニングなどは行っていないですが、整備したインフラを利用して、少しずつでも学生のための学習コンテンツのバラエティーを増やしていきたいと考えています。(文責:増川純一)



【事務局便り】

臨時総会報告

CSI事務局長 染 岡 慎 一（安田女子大学）

平成15年10月18日、広島県情報プラザにおいて特定非営利活動法人、中国・四国インターネット協議会第6回総会(臨時総会)が開催されました。今回の臨時総会は、平成15年5月24日開催の第5回総会においてご承認いただいたCSIの平成15年度事業計画のうち、「平成16年度以降の接続事業について」の10月18日までに実施した事業の報告・承認および、10月18日以降の詳細な事業計画の承認を求める事を主な目的として開催されました。

総正会員数64のうち、出席正会員数59(表決権行使5、議長委任19を含む)であり、吉田理事長を議長として総会が進行されました。

第1号議案、平成15年度事業計画「平成16年度以降の接続事業について」に関する事業実施経過報告ではCSIの次期ネットワークについて2つの提案を検討した結果、NTTグループを主協議対象者として選定し、7月末に公示、ネットワーク移行について具体的な準備作業に入った経緯が報告され、審議の結果、賛成多数でご承認をいただきました。

第2号議案、接続移行に関する平成15年10月18日以降の事業計画承認の件では、CSIの新ネットワーク SuperCSIの概要、具体的な移行スケジュール等の計画案が示され、審議の結果賛成多数でご承認をいただきました。

本臨時総会での承認を受け、後日NTTグループと共同でプレスリリースを行い 11月1日付中国新聞において、100Mbps～1Gbpsの強力な地域ネットを活用した高校・大学間や大学相互の連携授業等について紹介されました。

本臨時総会ではさらに第3号議案として、個人正会員会費を年5千円に改定する提案が、平成16年度も入会金0円を継続する案とあわせて提案され、ご承認をいただきました。

CSI会員紹介（2003年12月3日現在）

団体正会員（23組織）*50音順 ☆印は接続会員 <http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#dantai>

学校法人広島国際学院、学校法人高知工科大学、☆学校法人福山大学、株式会社ネットスプリング、
☆株式会社広島市産業情報サービス、株式会社ラディックス、☆呉大学、☆県立広島女子大学、
☆高知工業高等専門学校、☆高知女子大学、☆財団法人放射線影響研究所、☆日本赤十字広島看護大学、
ネットワン・システムズ株式会社、比治山大学、☆広島大学、☆広島県立大学、☆広島県立保健福祉大学、
☆広島市、☆広島市立大学、広島商船高等専門学校（マルチメディア時代における教育研究会）、
☆福山平成大学、安田女子大学、☆弓削商船高等専門学校

賛助会員（12組織）*50音順 <http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#sanjo>

伊藤忠テクノサイエンス株式会社、株式会社内田洋行、株式会社ジャストシステム、株式会社日立製作所中国支社、
株式会社ミウラ、総務省中国総合通信局、株式会社エネルギア・コミュニケーションズ、中国電力株式会社、
西日本電信電話株式会社広島支店、日商エレクトロニクス株式会社中国支店、日本電子計算株式会社、
日立中国ソフトウェア株式会社

個人正会員（41名）<http://www.csi.ad.jp/sec/members.html#kojin>

編集後記

CSIの次世代ネットワーク(SuperCSI)が立ち上がろうとしています。超高速ネット時代を先取りする先進的な取り組みで、インターネットが立ち上がった、あの頃の興奮をもう一度、皆で共有できるのが楽しみです。(KI)

2003年12月20日 企画広報部会・広報誌編集担当 今井一雅、河野英太郎、上野優香

